



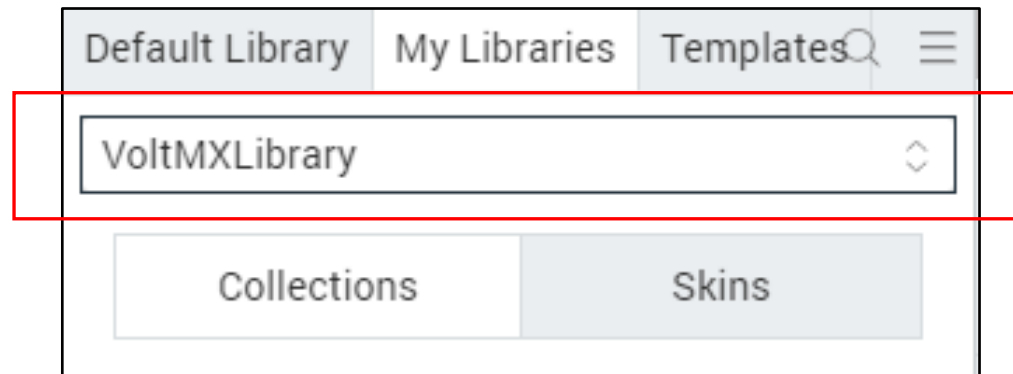
HCL Volt MX

コレクションと ライブラリー

HVMX-BC-500 Volt MX Iris Collaboration

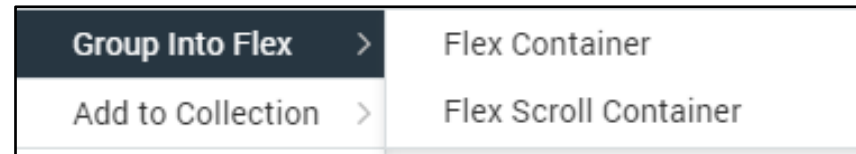
ライブラリー

- Irisはライブラリー概念（他のプロジェクトで使用するために自分の成果物を保存する仕組み）をサポートしています。
- デフォルトでは VoltMXLibrary が常時あり、ウィジェット、コレクション、スキンが格納されています。
 - ウィジェットはすべてのライブラリーで共有されますが、コレクションとスキンは別です。
- ライブラリーに保存できるもの
 - コレクションには UI要素を保存でき、どのプロジェクトでもフォームにドラッグして戻すことができます。
 - 作成したスキンは、すべて保存でき、どのプロジェクトにも適用できます。

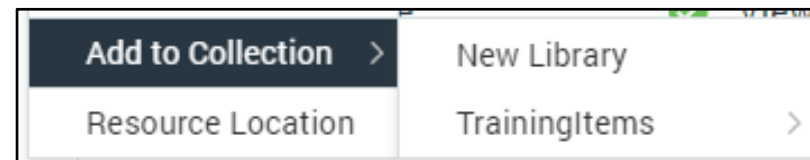


ライブラリー - コレクション

- 一度に複数のウィジェットで作業する方法
 - フレックスコンテナに入れて、中のウィジェットを一度に移動、表示/非表示、管理できるようにします。
 - アプリ内には多くのフレックスコンテナがあります。ユニットとして、下記のように影響を与えたい UI の各パーツに対応するものを用意します。
 - スキニングのために使用できます。UI のブロックをユーザーに対して目立たせることができます。
 - アニメーションのために使用できます。コンテナをアニメーションさせると、中のウィジェットも一緒にアニメーションさせることができます。
 - 再利用したいUIパラダイムがある場合。ユーザー名とログインの UI を完成させ、複数のアプリで使用する必要があり、すべてを 1 つのユニットとして保存する場合。
- フォームの設計を開始し、フレックスコンテナを使用しない場合は、アウトラインでウィジェットを右クリックして、ウィジェットをフレックスコンテナに追加できます。







- いつでもウィジェット(コンテナまたは個々のウィジェット)を取り出して、コレクションに保存し、再利用できます。

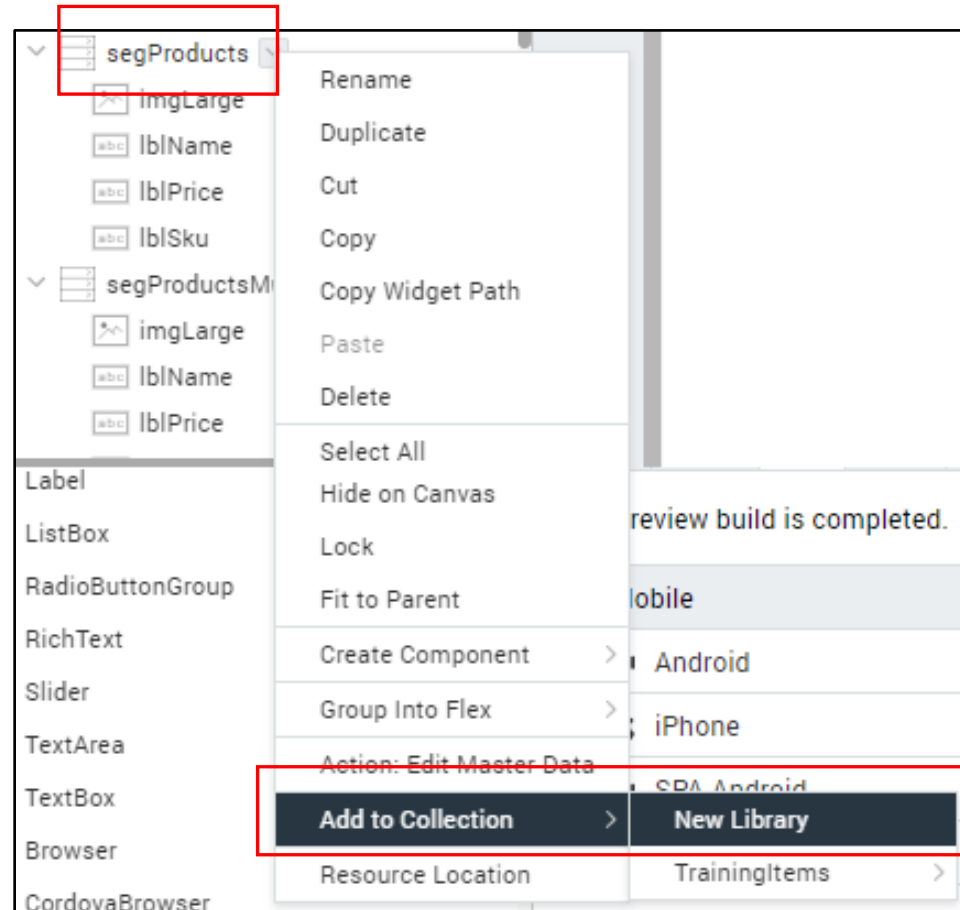


新しいコレクションの作成

- ここでは、他のプロジェクトで使用するため、またはこのプロジェクトで再び使用するために保存したいセグメントを紹介します。

	Google - Nest Learning Smart Wifi Thermostat - Stainless Steel	\$249.99	4346501
	GE - Bluetooth Plug-In Smart Switch - White	\$30.99	4978903
	Kung Fu Rider - PlayStation 3, PlayStation 4	\$19.99	1119314
	Rage - Xbox 360	\$14.99	1228939

ステップ1: 追加したいウィジェットを右クリックし、[Add to Collection] -> [New Library]を選択します。

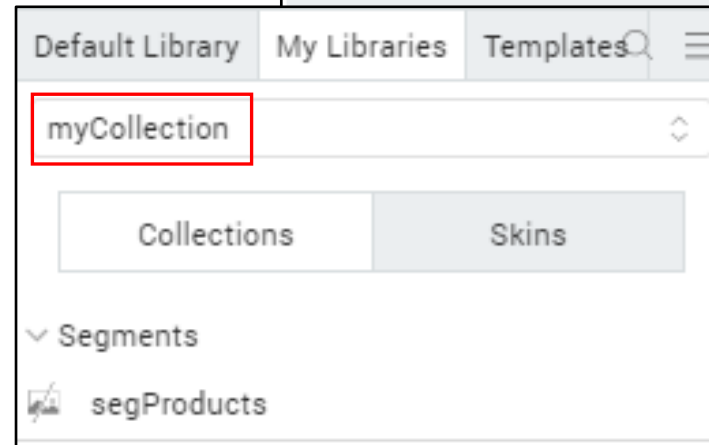
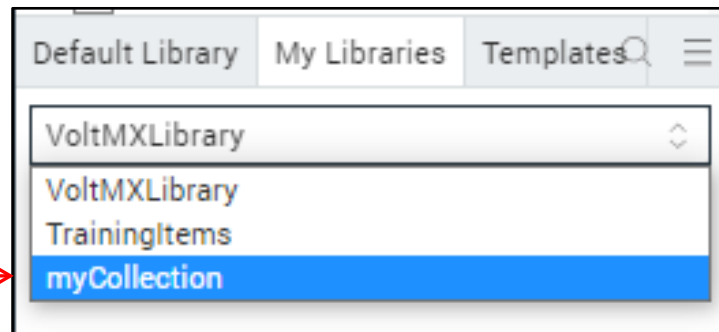
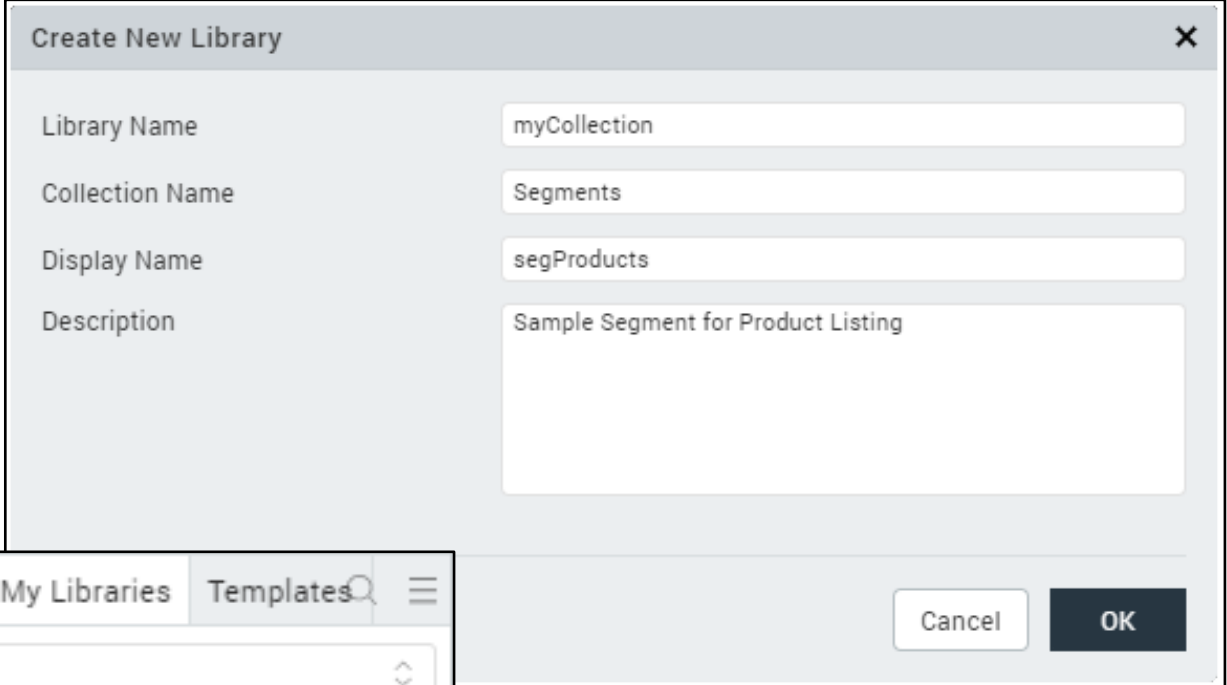


すでにコレクションがある場合は、ここで選択できます。

新しいコレクションの作成（続き）

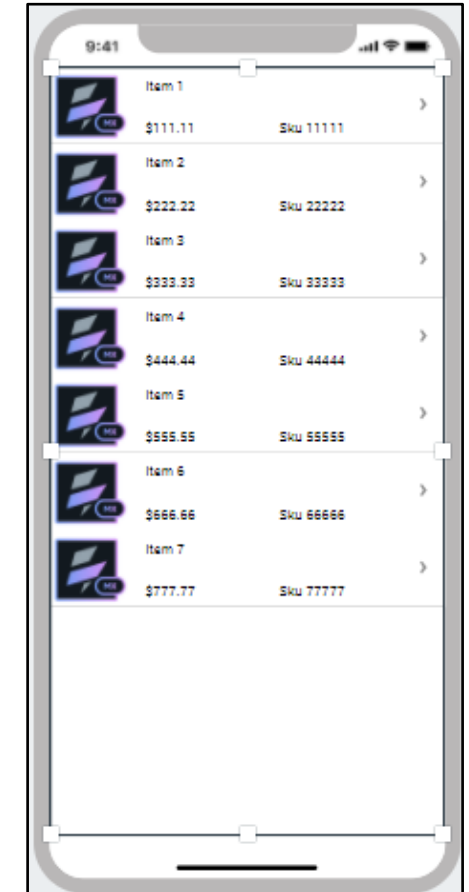
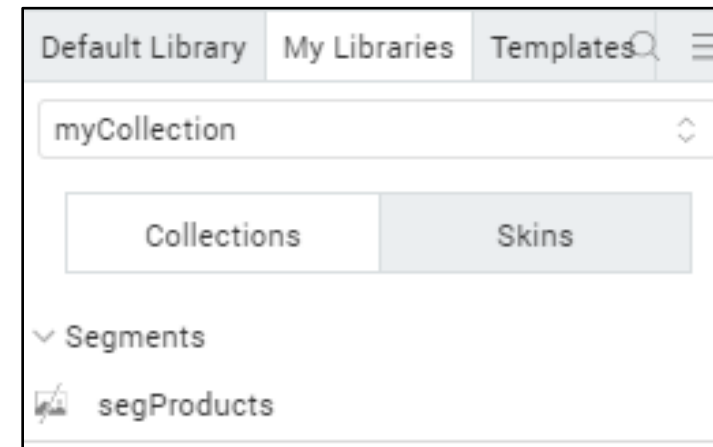
- 新しいライブラリーを作成できます。
- ライブラリーは、1つまたは複数のコレクションを持ちます。
- コレクションには、1つまたは複数のテンプレート(コレクションに保存されたウィジェット) があります。
- Iris のライブラリーセクションで、新しいライブラリーに切り替えられます。

ステップ 2: 名前とコレクショングループ名、追加するウィジェットを入力します。



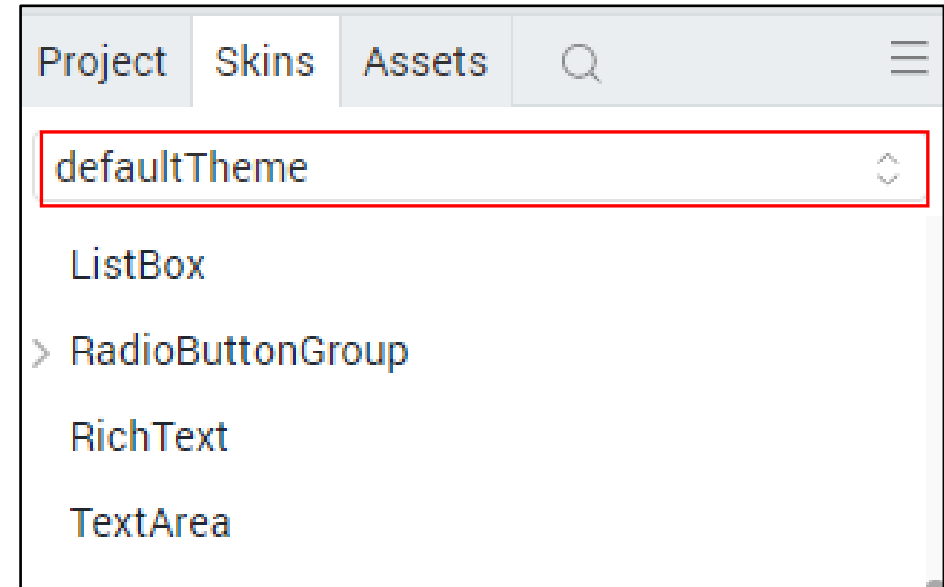
コレクションの利用

- 新しいアイテムを新しいフォームで使う方法
 - 他のウィジェットのようにドラッグ&ドロップするだけ。
- コレクションアイテムについての注意点
 - アクションはコピーされません。
 - 新しいプロジェクトにドラッグすると、テンプレートで使用されていたスキンやイメージのリソースがすべてコピーされます。
 - ベストプラクティス。重要な作業要素は、安全な場所に保存してください。
- ヒント:ウィジェットを右クリックし、[ロック]を選択すると、誤って変更されることを回避できます。



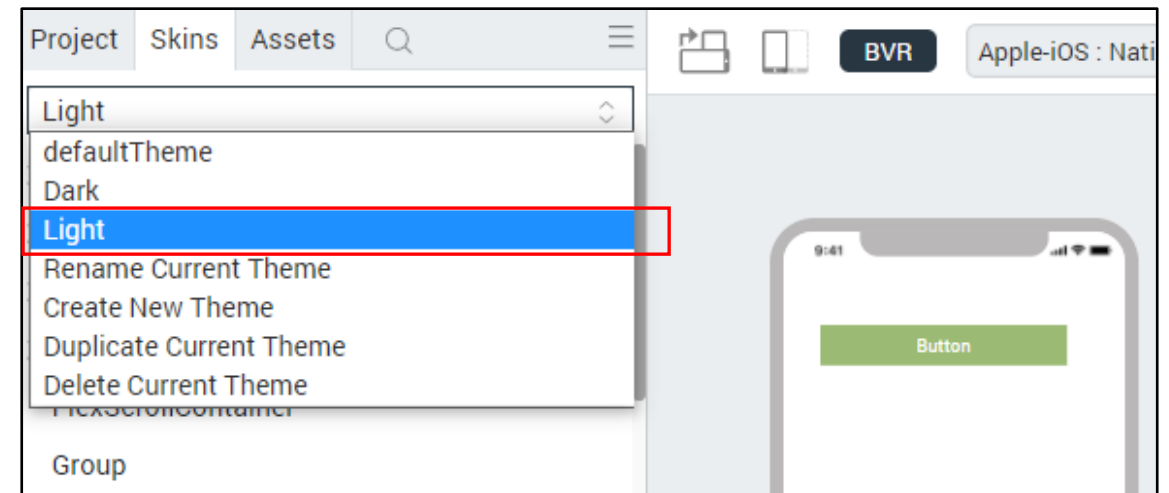
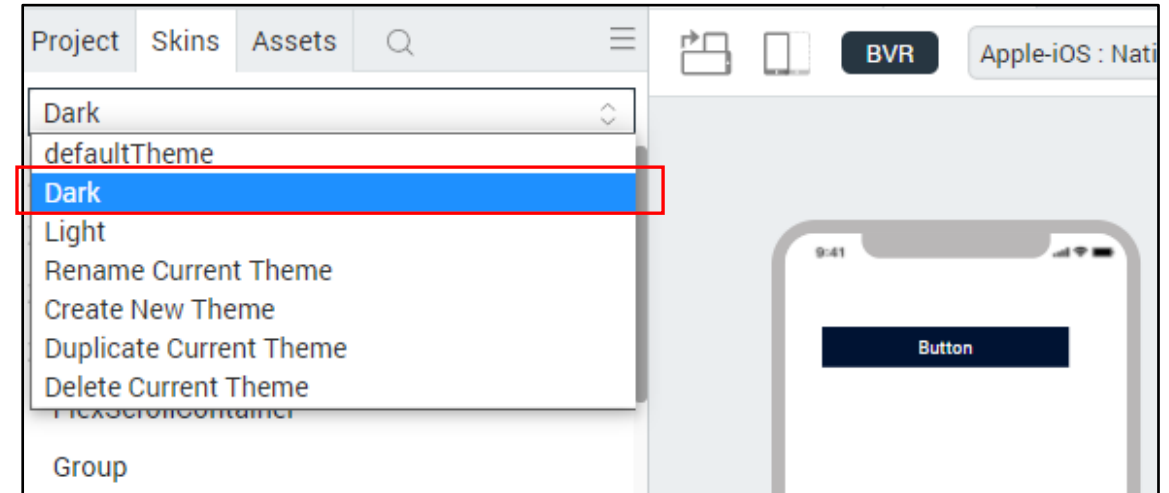
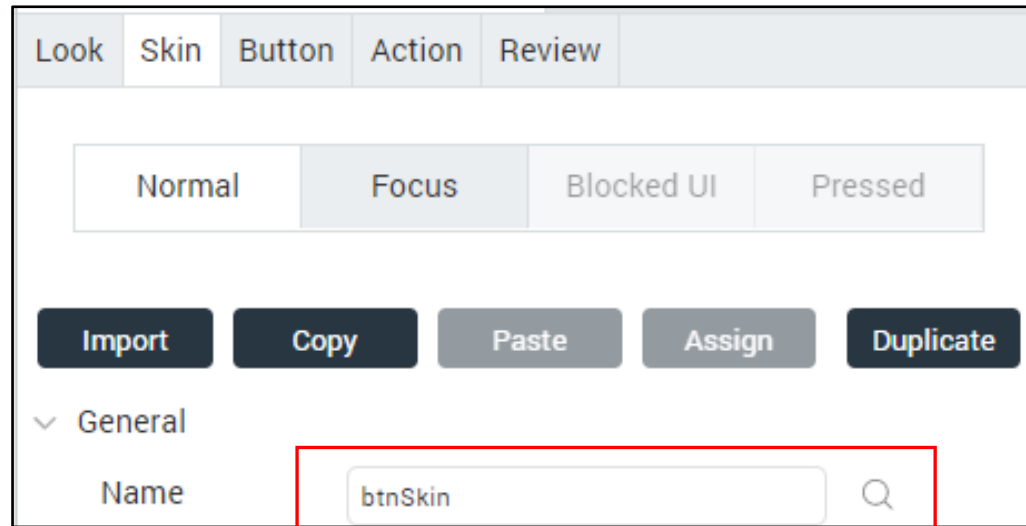
テーマ

- スキンをライブラリーに保存して、他のプロジェクトで使用できます。
- スкинはウィジェットで構成されていますが、テーマの一部として定義も可能です。
 - デフォルトでは、すべてのスキンは defaultTheme を使用します。
 - テーマは、スキン定義のコレクションです
 - すべてのスキンはすべてのテーマに属します。
 - 各テーマは異なる構成のスキンを持てます。
 - テーマは適切なものを選ぶことで適用され、それらのスキンの構成がすべて使用されます。
 - 実行時にコードでテーマを切り替えることができます（開発者が実行する）。



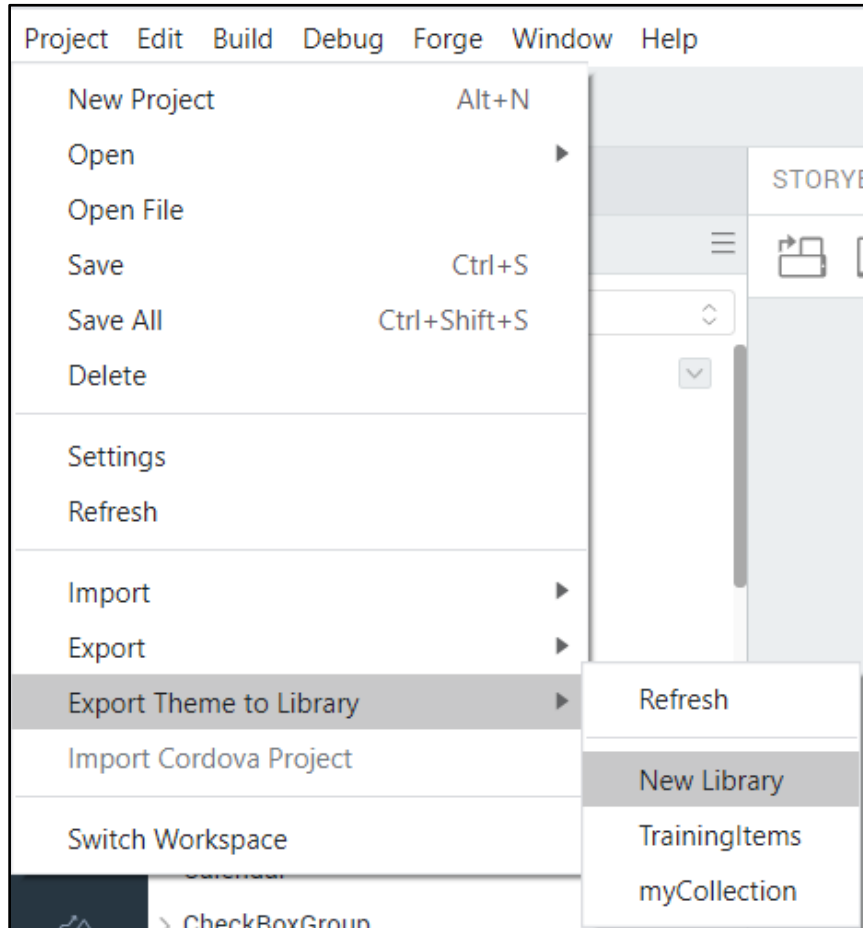
テーマ - 例

- ダークとライトの2つのテーマを持てます。
 - 各テーマにおいて、1つのスキンの2つの定義の例です。同じスキンでありながら異なるテーマです。



テーマをライブラリーに書き出す

- 作成したテーマは、他のプロジェクトで使用するためにライブラリーに保存できます。
 - すべてのプロジェクトのスキンがライブラリーに移動することに注意してください。

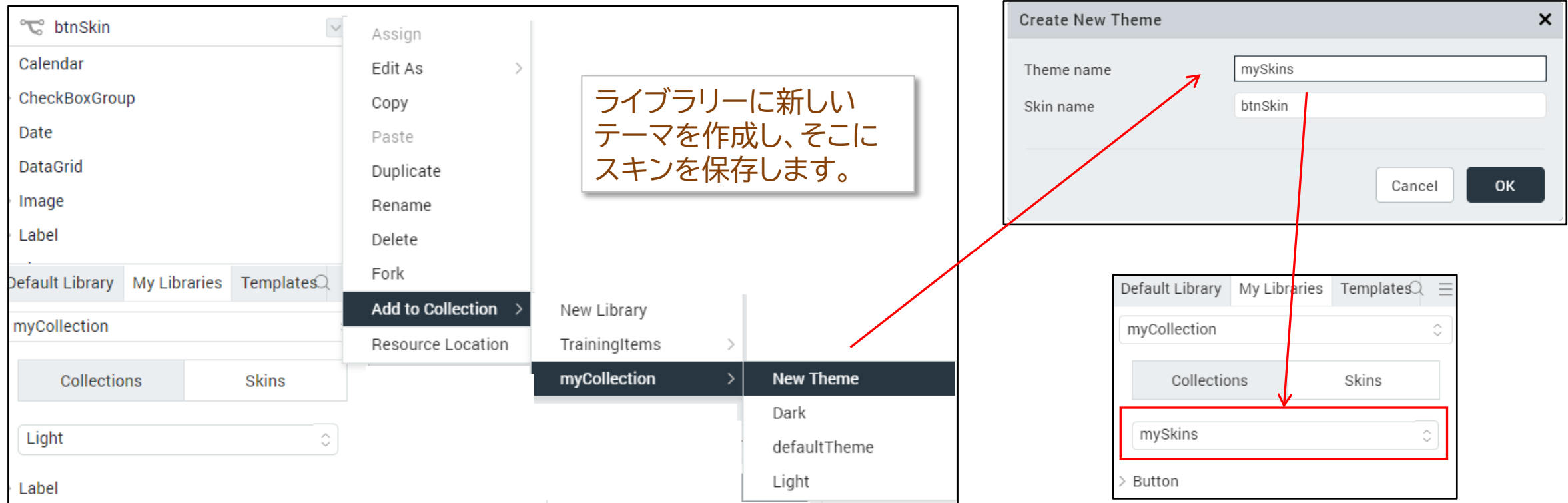


注意: このオプションを使用すると、すべてのスキンとテーマがライブラリーに保存されます。

保存する際、新しいライブラリーを作成するか、既存のライブラリーを使用できます。

スキンをライブラリーにコピーする

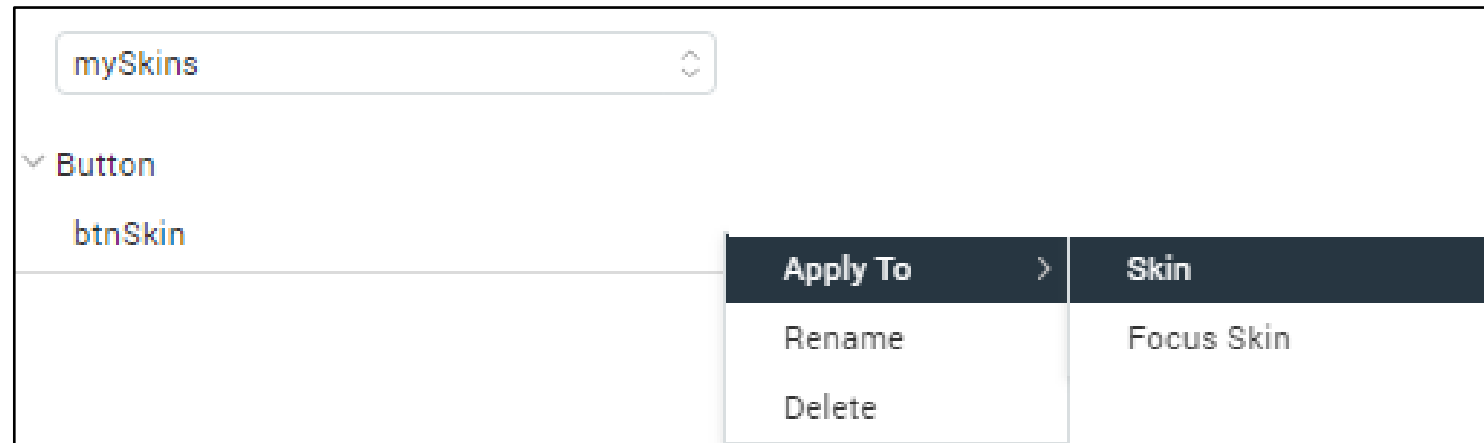
- 一括エクスポートの代わりに、スキンを1つずつライブラリーに保存できます。
- Skins タブで、ライブラリーに保存したいスキンを探します。
 - 注:正しいスキンのバージョンを取得するために、正しいテーマが選ばれていることを確認してください。



- 注:この文脈での「テーマ」という言葉は正しくありません。スキンのコレクションであり、ライトとダークのテーマを作成したときのような「本当の」テーマではありません。

ライブラリーからスキンを使用する

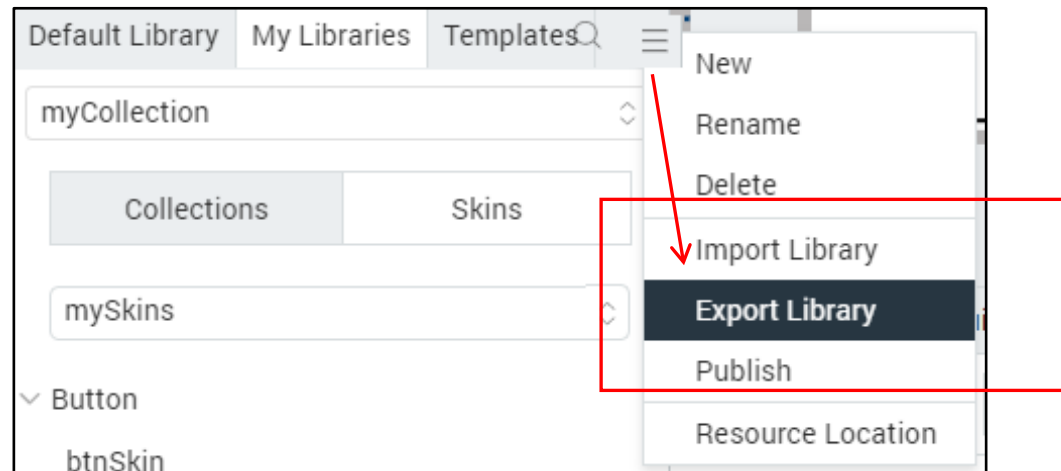
- スキンをライブラリーに保存したら、現在のプロジェクトでこれらのスキンを使用できます。
 - まず、スキンを適用したいフォーム上のウィジェットをハイライトします。
 - 次に、ライブラリーのスキンを右クリックし、適用します。



- スキンを適用すると、それが現在のプロジェクトの一部となります。

ライブラリーの使用

- 定期的に制作中の成果物を保存することは非常に重要です（特に学習中/練習中）。
 - いつでも戻って、不要な要素を削除できます。
 - 何かを失敗して、それを元に戻す方法がないのは、非常にもどかしいことです。
- 複数のウィジェットを保存するには、ウィジェットをコンテナに格納しておく必要があります。
 - 保存しやすいように、トップレベルのコンテナを使ってください。
 - もし忘れていて、後ですべてのウィジェットをコンテナに入れる必要がある場合は、コンテナにカット/ペーストし、必要に応じてレイアウトを調整し、コレクションに保存します。
- ライブラリーをインポート/エクスポートして、他の人と共有できます。
 - 多くのデザイナーがいる分散型組織で非常に便利です。
 - ソース管理も簡単です。



HCL

www.hcltech.com

\$10 BILLION | 159,000+ IDEAPRENEURS | 50 COUNTRIES